

香里ヶ丘図書館・中央公園の 一体的な整備の考え方

平成30年4月

目次

I. まちづくりの課題を踏まえた整備に向けて

- 1) 香里ヶ丘地区について
- 2) 現況の課題と整理(上位計画の整理)
- 3) 香里ヶ丘地区のまちづくりと図書館・中央公園の一体的な整備に向けて

II. 図書館と中央公園の機能連携

- 1) 香里ヶ丘地区の魅力を高める施設
- 2) ハードとソフトの連携
- 3) 連携のイメージ

III. 図書館の施設計画

- 1) 敷地分析とゾーニング計画
- 2) 階構成と機能性
- 3) 図書館イメージ

IV. 中央公園の整備計画

- 1) 中央公園および公園ネットワークの課題
- 2) 整備方針と機能配置
- 3) 中央公園イメージ



香里団地(D地区)



香里ヶ丘図書館



香里ヶ丘中央公園

I. まちづくりの課題を踏まえた整備に向けて

1) 香里ヶ丘地区について

香里ヶ丘地区の核となる香里団地は、昭和30年に西日本における区画整理事業の第1号として旧香里製造所の跡地に香里団地の造成が開始されました。155haの広大な土地には、集合住宅、戸建住宅、公共施設や道路、公園などが整備され、ゆとりある区画とともに緑豊かな地域に計画戸数5,850戸という規模は「東洋一のニュータウン」とも呼ばれました。



香里団地の並木(枚方市ホームページより)

昭和33年、入居開始当時5.8万人だった枚方市の人口は、香里団地をきっかけに住宅建設が進み、昭和42年には15万人を越える都市に発展しました。

そのような発展とともに、住宅環境を補完する機能として、商業施設、銀行、病院や保育所など日常生活が徒歩圏内で完結できる環境が整えられ、さらにバス路線も主要駅への結節が充実しており、大阪や京都方面への通勤・通学にも利便性の高いまちとなっています。

これらの立地条件の利点を活かし、さらに魅力あるまちへと繋げていくためには、若年・子育て世代を中心とする新たな市民層の定住を促す取り組みとして、地域での交流機会や子育て環境の充実を図ること、また高齢者が安心して住み続けられる医療・福祉サービスの充実が不可欠となります。

今回の香里ヶ丘図書館や香里ヶ丘中央公園の整備と併せて、地域の商業施設や都市再生機構(UR)と連携強化を図り、子育て環境の充実や高齢者の暮らしやすいまちづくりが求められています。

2) 現況の課題と整理 (上位計画の整理)

(1) 地域づくり

①第5次枚方市総合計画：平成28年3月

【枚方市の状況と課題】

- ①少子高齢化の進展
- ②安全・安心に対する意識の高まり
- ③多様な主体によるまちづくりの推進

【基本構想 (めざすまちの姿)】

持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方

5つの基本目標

- ①安全で、利便性の高いまち
- ②健やかに、生きがいを持って暮らせるまち
- ③一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
- ④地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
- ⑤自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち

重点的に進める施策

- ①市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる
- ②安心して子どもを産み育て、健やかな成長と学びを支えるまちをつくる
- ③誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる
- ④人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる

②枚方市都市計画マスタープラン：平成29年3月

「まち・ひと・自然がつながり、持続的に発展する都市」

1. 便利で快適に暮らせる計画的な都市づくり
2. 都市基盤や、公共交通ネットワークが充実した都市づくり
3. 安全安心の都市づくり
4. 水や緑の豊かな地域資源を生かし、質が高く潤いのある都市づくり

	都市機能集積ゾーン
	生活利便ゾーン
	居住ゾーン
	工業集積ゾーン
	住工密着ゾーン
	沿道産業集積ゾーン
	環境共生ゾーン
	遊子作富田地区
	JR学研都市線
	京阪本線、京阪交野線
	広域幹線道路
	幹線道路
	補助幹線道路
	(市) 市道
	主要なバス路線
	主要なバス停
	土地区画整理事業区域
	都市計画公園(※遊休地)
	河川
	地域界



【香里ヶ丘地区に関わる都市づくりの方針】

- 周辺エリアの中心となる都市機能集積拠点の形成
- 香里団地の再生、子育て支援・教育文化に関する都市機能の充実化

③枚方市立地適正化計画：平成29年3月

【枚方市の状況と課題】

- ①少子高齢化、人口減少
- ②市街地の拡大
- ③公共交通
- ④都市機能の立地
- ⑤災害
- ⑥公共施設

【都市機能の立地状況】（※図書館について抜粋）

- 中央図書館、分館×7
（香里ヶ丘図書館以外は生涯学習センターとの併設）
が利便性の高いエリアに立地
- 分室×11、自動車文庫ステーション×24を設置

【立地適正化計画の目的及び基本的な方針】

『より便利な都市を実現させていくこと』
『公共交通ネットワークを充実させること』

【誘導区域の設定】

- 居住誘導区域
- 居住環境保全区域
- 都市機能誘導区域
（香里ヶ丘地区を含む市内13か所を設定）

【香里ヶ丘地区都市機能誘導区域（約71ha）】

〈現況〉－香里団地センター地区を含めた区域内に多様な都市機能が集積している
－URによる香里団地再生が進められている

〈主要交通〉－バス停「新香里」が交通の要衝

〈都市づくりの方向性〉

周辺地域の生活サービスを担い、賑わいのある都市拠点
誘導施設：医療・商業・子育て支援施設、図書館、文化施設

④都市再生整備計画（香里団地センター地区）

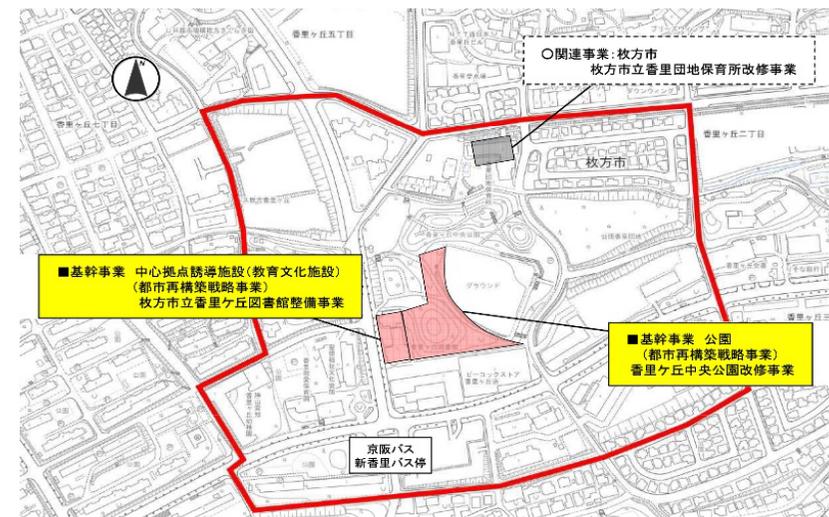
：平成29年7月

【枚方市の状況と課題】

- 生涯学習を支え、地域の賑わい形成と文化の振興に対応した文化施設の整備が求められている
- 文化施設（図書館）の整備と一体となって活用する緑空間と地域住民の憩いやふれあいの場が求められている
- 地域子育て支援機能を充実させ、若年世代の居住が求められている

【目標と主要な事業】

- ◆目標1：街のさらなる賑わいの創出
⇒香里ヶ丘図書館整備事業
- ◆目標2：人と自然との共生を図る
⇒香里ヶ丘中央公園改修事業
- ◆目標3：子育てしやすいまちづくり
⇒香里団地保育所改修事業



(2) 社会福祉

①枚方市地域福祉計画（第3期）：平成27年3月

【枚方市の状況と課題】

■高齢化の状況

高齢化率：23.0%(平成25年)

※枚方市人口推計調査報告書(H26.1月)によると、平成35年には28.6%、平成45年には30.9%と3割を超えると推計される

■障害者の状況

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者：
合計約2万人(人口の約5%)

[第3期計画で取り組むべき課題]

1. 課題を抱える人への適切な支援
2. 地域福祉活動への参加者不足の解消
3. 地域内組織・団体の連携の強化
4. 家庭や地域への情報発信の強化

【計画の理念と施策目標】

計画の理念「みんなが、いつまでも安心して

地域で暮らせるように、支え合える地域を創る」

基本方向	施策目標
誰もが暮らしやすい地域づくり	相談支援体制の充実
	福祉施策の充実
	生活困窮者への支援 権利擁護の推進
地域福祉活動の担い手づくり	地域での担い手づくりの支援 コミュニティの活動支援
地域福祉のネットワークづくり	避難行動要支援者支援体制の構築支援 住民参加による高齢者支援体制の基盤整備
支え合い尊重し合える意識づくり	福祉意識の向上 子どもの福祉教育の推進

②枚方市子ども・子育て支援事業計画：平成27年3月

【枚方市の状況と課題】

①子供と子育て家庭を取り巻く

環境変化

- 少子・高齢化・核家族化
- 女性の就業率増加
- 保育所の待機児童
- 延長保育、一時預かり、
ショートステイ利用増加
- 家庭児童相談件数の増加

②これまでの計画の評価と

今後の対応

- 子供の居場所づくり、
文化活動促進
- 保育所(園)の老朽化対策
- 保育の質的・量的拡大
- 地域内子ども・子育て支援の充実

【計画の理念と施策目標】

基本理念「子どもが笑顔で健やかに成長できるまち枚方」

- 施策目標1 子どもの生きる力を育む環境の整備
- 施策目標2 子どもの個性や創造性を育む環境の整備
- 校外活動の推進：図書館の読書環境の充実
- 自然と親しめる公園や緑地の整備子供が安心して遊び、集える場の充実
- 読書活動の推進：児童図書(図書館)
- 施策目標3 子育て家庭に優しい安全・安心なまちづくりの推進
- 子育て家庭に配慮した公共施設等の設備整備の推進(図書館)
- 施策目標4 地域における子育ての相談・支援
- 施策目標5 子育てと仕事の両立支援
- 施策目標6 子どもの人権擁護の推進

【図書館での子育て支援行政サービス】

「ふれあいルーム」※

※ふれあいルーム事業：本とふれあいながら親子の交流ができる場として、市内8か所の図書館等で、市民団体等の運営により、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施する事業

平成25年度の利用者数は市全体で15,036人、南部地区では4,095人



枚方市ホームページより

(3) 図書館

①枚方市立図書館第3次グランドビジョン：平成28年3月

【枚方市の状況と課題】

少子・高齢化、人口減少、知識基盤社会の進展など、
社会状況の急激な変化

地域の情報拠点として、
レファレンス機能拡充が求められている

- 従来の図書館サービスの枠を超えた教育・生涯学習関連事業の支援が必要
- 魅力的な図書館の構築のための効果的・効率的な図書館運営が必要

【全体方針】

生涯学習を支援し、情報活用環境を高める
図書館サービスの充実

【枚方市市立図書館運営方針】

- ①公共図書館としての基礎的な図書館サービスの提供
- ②課題解決支援機能の強化（レファレンス機能の拡充の一環）
- ③教育的役割を重視した他部署の教育・生涯学習関連事業支援の推進
- ④魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

【これからの図書館】

1. 図書館の枠を超えた教育・生涯学習関連事業の支援強化
2. 新たな取り組みに必要な人材・物・予算などの資源は効果的・効率的な管理運営体制の構築により自ら生み出す



▲枚方市キャラクター
「ひこぼしくん」

②香里ヶ丘図書館建替え基本計画：平成29年3月

【枚方市の状況と課題】

昭和48年7月、枚方市最初の図書館分室として開館。
分館の中で、貸出冊数1位の楠葉図書館に次ぐ約40万冊（平成28年度）の貸出を行うなど、南部地域における図書館サービスの拠点となっている

【課題】

①施設面の課題

・老朽化、バリアフリー化の遅れ、狭小な閲覧スペース等の改善

②図書館サービスに係る課題

・拠点図書館にふさわしいサービス、施設機能の提供
・高齢者をはじめとする地域住民のための居場所機能の提供
・子育て、若年世代に役立つ身近な悩み、問題解決や学習支援機能の強化

③香里ヶ丘地区の魅力アップに寄与するための課題

・緑の公園や周辺地域との一体感、地域の活性化に寄与する図書館
・香里ヶ丘地区の歴史を後世に伝える地域資料の収集・提供
・IT機器等を活用した情報提供環境の充実

④民間ノウハウを活用した魅力的かつ効果的・効率的な運営

・設計における民間のノウハウの活用
・室内空間の活用及び図書館運営における民間ノウハウの活用

【新たな香里ヶ丘図書館のコンセプト】

- ①南部地域における拠点図書館
- ②気軽に立ち寄り、ゆったりと過ごせる滞在型図書館
- ③子育て・若者世代の役に立つ課題解決型図書館
- ④緑の公園や周辺地域と一体感があり地域の魅力向上に寄与する図書館
- ⑤民間ノウハウを活用した魅力的で効果的・効率的な図書館

(4) 公園

①枚方市みどりの基本計画：平成28年3月

【枚方市の状況と課題】

[緑地資源の課題（みどりの拠点＝公園）]

- 地域のニーズに合わせた公園の再生
- 市民の公園への関わりの強化
- 公園施設の効率的な維持管理

[みどりづくりの仕組みの課題]

- 市民、市民団体、事業者・大学の連携と活動継続の支援
- 多様な主体の連携への支援・強化

みどりの将来図



【基本方針】

恵まれた良質なみどりを活かし、つなぎ、育む、
人もみどりも元気でやさしい枚方へ

- 次世代につながるみんなのみどりづくりを支援する
〈つながるみどり〉
- 枚方の優れたみどりを守り活かしていく
〈守り、活かすみどり〉
- 身近なみどりの機能を向上させる
〈創り、満ちるみどり〉
- 花とみどりに囲まれたまちなか緑化を推進する
〈育むみどり〉



- ・市民、市民団体、事業者、大学の参加促進と行政を含めた連帯の仕組みづくり
- ・緑の普及啓発とふれあう機会の充実
- ・新たな財源の確保と効率的な事業展開



- ・里山の保全、活用
- ・農地の保全、活用
- ・水辺地の保全、活用
- ・社寺林、孤立林などの保全、活用



- ・公園の充実（公園の再生・再編・整備、適切な維持管理）
- ・道路・河川のネットワークの充実



- ・住宅地の緑化
- ・商業地の緑化
- ・公共公益施設の緑化
- ・工業地の緑化

(5) UR都市機構

①多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちを目指して

【背景】

昭和40年～50年代前半に供給した大規模団地の建物の老朽化と居住者の高齢化に対応したバリアフリー化の必要に迫られている

大規模団地

- 既に形成されているコミュニティ
- 豊かな緑環境
- ゆとりある建物配置
- 比較的低廉な家賃

「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる
住まい・まちづくり」(ミストコミュニティ)を目指す

日本再興戦略
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」
UR団地の福祉拠点化
↓
平成32年までに100団地を
地域医療福祉拠点化する(閣議決定)

【地域医療拠点化】

①地域における医療福祉施設などの充実の推進

団地を含む地域全体で安心して住み続けられるための在宅医療・看護・介護サービス等が受けられる生活環境の整備をめざし、地域において不足する施設等の誘致や既存施設等との連携

②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進

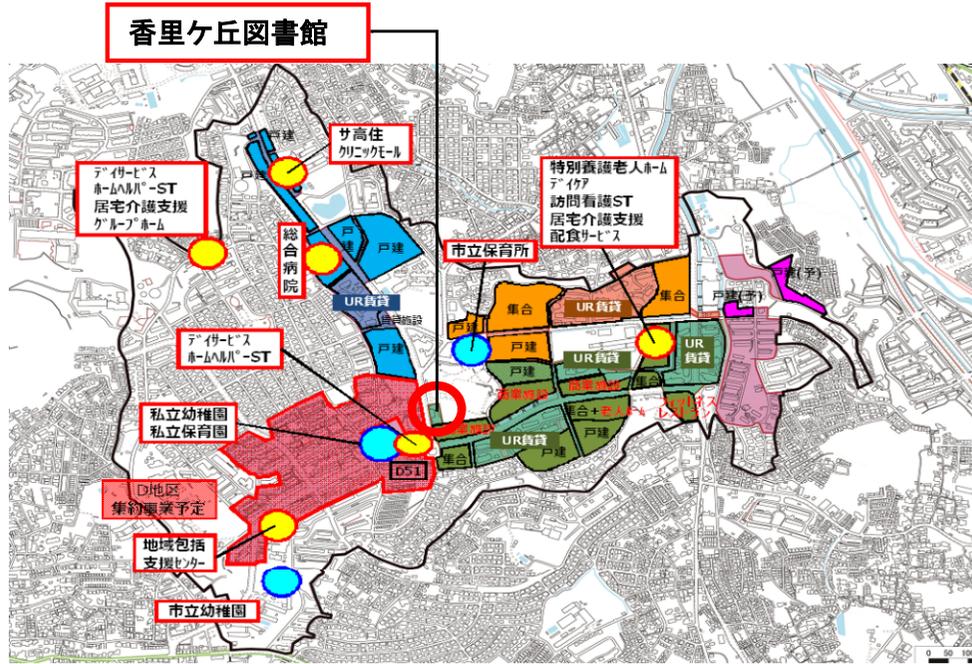
安全に住み続けるために必要な高齢者向け住宅の整備 ほか

③若年世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

多世代交流の機会の創出や生活支援サービス機能の導入 ほか



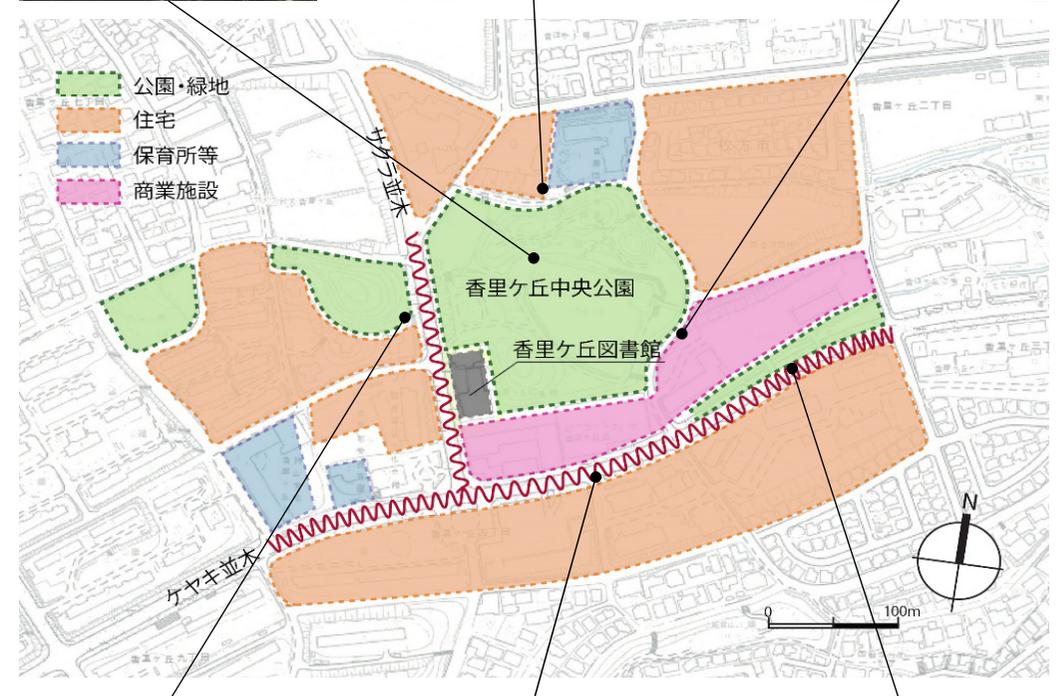
②香里ヶ丘地区の整備状況



- 整備敷地に特養など介護施設、サービス付き高齢者向け住宅、病院等を誘致
- センター街区も施設建替えを実施し、商業、生活利便施設等も充実
- 香里団地D地区
 - ・子育て支援施設、地域包括支援センターがある
 - ・センター街区またバス路線のハブとなるバス停にも近く、利便性が高い
 - ・EV設置効果の高いD51にEV設置：高齢者配慮
 - ・企画住宅等の導入：若年世代流入

※計画地はB地区とD地区の間に立地している。戸数の多いD地区の整備が進むことにより地区全体の人口の増加が見込まれ、新しい都市機能の充実が必要となる

③計画地周辺の概況



3) 香里ヶ丘地区のまちづくりと図書館・中央公園の一体的な整備に向けて

(1) 上位・関連計画のまとめ

香里ヶ丘地区において、本市総合計画や都市計画マスタープラン、地域福祉計画等さまざまな関連計画に基づくまちづくりとあわせ、平成28年にはUR都市機構と包括連携協定を締結し、子育て環境の充実や高齢者の暮らしやすいまちづくりに向けた取組みを進めています。

①地域づくり

- 少子高齢化、人口減少社会において、人口流出を食い止め、持続可能なまちづくりを目指す
- 市民ニーズの多様化(子育て、高齢者、利便性)
- 人と自然の共生 ● 交通の円滑化
- 賑わいの創出 ● 地区の求心力向上
- 子育てしやすいまちづくり(若年世代の定住)
- 効率化:コンパクトシティ

②社会福祉

- 地域のつながり強化
- 様々な人の活躍の場
- 高齢者、子どもの居場所の創出
- 子育て支援
- 医療福祉機関誘致
- バリアフリー化
- 生涯学習・人材育成

③図書館

- 図書館ネットワークの地域拠点
- 図書館機能の充実
- 複合的機能の追加(教育・情報・集会)
- 情報拠点として情報発信の役割
- 子どもの読書推進・文化教育
- 子育て支援 ● 居場所としての図書館
- 生涯学習・人材育成

④公園

- みどりの保全・活用
- 賑わいの創出
- 多世代の交流
- 居場所としての公園
- 環境教育

地域資源の活用
 地域連携の促進
 賑わいの創出
 子育て支援
 公共施設や拠点施設の整備
 生涯学習の充実

⑤UR都市機構

A地区:香里ヶ丘みずき街	B地区:香里ヶ丘けやき東街	C地区:香里ヶ丘さくらぎ街	E地区	D地区
建替(平成10年度)	建替(平成16年度)	建替(平成18年度)	集約(平成24年度)	集約(平成32年度完了予定)
集合住宅	集合住宅	戸建住宅	戸建住宅	住宅・施設等(検証中)
戸建住宅	戸建住宅	サービス付高齢者向け住宅		
	介護保険施設	戸建住宅(計画中)		
	有料老人ホーム	総合病院(計画中)		
	フィットネス	商業施設(コンビニ等)		
	商業施設(スハ、店舗等)			

(2) 図書館と中央公園の一体的な整備の検討プロセス

本市の上位・関連計画や財政状況等

民間提案

香里ヶ丘図書館・中央公園整備のあり方検討書
(株式会社日立建設設計西日本支社 平成29年11月作成)



香里ヶ丘地区の目指すまちのイメージと今後の取組み
(平成29年11月 総務委員協議会に報告)



UR都市機構との連携協力及び検討を進める個別事業
(平成30年3月時点)



香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的な整備の考え方
(平成30年4月作成予定)

香里ヶ丘中央公園整備構想
(平成30年4月作成予定)

市民意見

市民説明会(1回目)・市民アンケートによる結果

開催日:平成29年11月30日、12月2日
募集期間:平成29年11月30日(木)～平成29年12月19日(火)
意見提出者数:89人(インターネット、回収箱への回答)
公表意見数:188件(説明会等の意見含。内市民アンケートは171件)

【図書館と公園との機能連携に係る主な意見等】

- 子ども連れの家族をターゲットにした図書館と公園の連携は妥当
- ブリッジやスロープでつなぐべき(フラットにすべき)
- 子どもが安全・快適に公園と図書館を行き来できるようにしてほしい
- ブリッジがあるのは、高齢者にとって大変良い。本数は少なくとも
- 公園は図書館の補助的な使い方が望ましい
- 機能連携を考えずに切り離して実施すべき
- ブリッジは不要。かえって台無しになるのではないか

市民説明会(2回目)

開催日:平成30年2月25日、27日

【図書館と公園との機能連携に係る主な意見等】

- ブリッジの本数の見直しなど市民意見を取り入れてもらって良かった
- ブリッジの安全対策や幅はどれくらいか
- みどりの広場ではどのようなイベントを予定しているのか

香里ヶ丘図書館建替え基本設計
(平成30年3月作成)

※平成30年2月 総務委員協議会、文教委員協議会、建設環境委員協議会で案を報告

(3) 香里ヶ丘地区のまちづくりについて

①香里ヶ丘地区の目指すまちのイメージと今後の取組み：平成29年11月

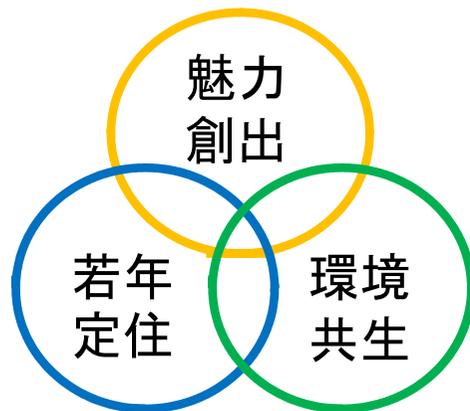
さらに魅力あるまちへと発展していくためには、若年・子育て世代を中心とする新たな市民層の定住を促す取組みとして、地域での交流機会や子育て環境の充実を図ること、また、高齢者が安心して住み続けられる医療・福祉サービスの充実が不可欠となります。

香里ヶ丘図書館の建替えと香里ヶ丘中央公園の再整備を契機とし、多様な施設が集積している利便性やゆとりある区画と緑豊かな当地区の特性を活かしながら、多様な世代による活動の輪へと一層広げていくために、地域住民や事業者、UR都市機構と連携強化を図るとともに、これらの取組みを多くの人たちの「住みたい」につなげていくための効果的な情報発信等について検討を進めます。

【香里ヶ丘地区の目指す姿】

持続可能なまちづくりの実現

「現在の良好な住環境を維持し、人々の活発な交流・活動、魅力あるまちを目指す」



①まち：賑わいの創出・拠点の整備

= 図書館と公園の機能充実による活動拠点化 [魅力創出]

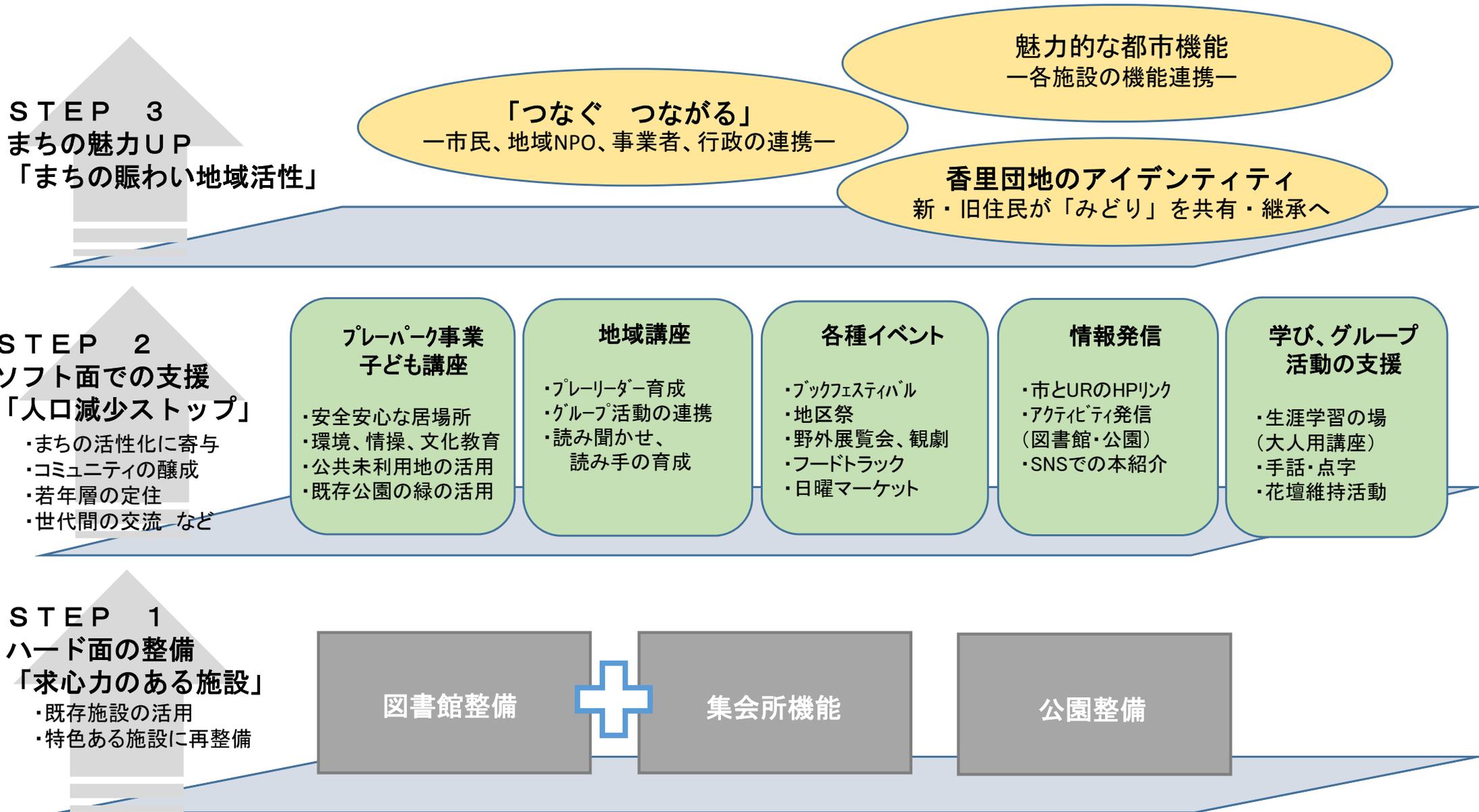
②ひと：つながりを持って暮らし続けられる・子育て支援

= 環境改善で地域の子育て機能を充実 [若年定住]

③みどり：人と自然の共生・賑わいの創出

= “みどり（公園）” を活かした地域のつながり促進 [環境共生]

②図書館と中央公園の一体的な整備の方向性



③図書館と中央公園の一体的な整備のポイント

【図書館と中央公園の一体的な整備の考え方】

図書館と公園と地域を“みどり”でつなぐ

- 求心力のある施設となるため、魅力的な都市機能をもたせる
- 図書館と公園の機能連携とともに、図書館、公園と地域とのかかわり方を含めて検討する

[活用事例]

- ・地区のセントラルパークとしての再整備【賑わいの創出】
- ・北側に隣接する香里団地保育所の公園利用【地域のつながり】
- ・図書館と公園をつなぐ“みどり”の有効活用【環境共生】

【みどりを活かす】

“みどり（自然）との共生”

- 象徴的な枚方丘陵の樹林を活かしつつ安全面に配慮した整備を行い、樹林で図書館と公園をつなぐことで、みどりが香里ヶ丘地区再生のシンボルとなる

樹林は、土地の来歴や生活の記憶をとどめる代表的な風景であり、この風景が図書館と公園をつなぐことにより住民に対する求心力を高め、賑わい創出の活動拠点として香里ヶ丘地区の再生に寄与し、新規住民の地域への愛着心醸成にもつながる

【一体的な整備の考え方】

まち・人・風景をつなぐ

- (地区再生) ・ 図書館、公園、他施設をつなぐ…魅力ある拠点づくり
- ・ 過去・現在・未来をつなぐ…多世代交流
- (施設計画) ・ 異なる世代間をつなぐ…新規施設の導入
- ・ 室内外の環境をつなぐ…みどりの活用
- ・ みどりが人と自然をつなぐ…環境共生
- (維持運営) ・ 市民の多様なニーズをつなぐ…地域のつながり
- ・ 行政と市民の活動をつなぐ…コンパクトシティ

Ⅱ．図書館と中央公園の機能連携

1) 香里ヶ丘地区の魅力を高める施設

(1) 機能連携による効力 (まちの魅力)

現状

高齢化の進行に伴う自由な時間を有する市民の増加や、地域社会の結び付きの希薄化による高齢者や子育て世代の孤立化が懸念されています。また、地区全域は丘陵地のため高低差が多く、高齢者や子育て世代、障害者の方々にとって生活利便性を損なうことも懸念されます。

今後求められること

今後、持続可能な都市を維持するためにも、市民にとって魅力的な施設が必要であり、高低差を緩和することも重要と言えます。
そこで、地域の高台に位置する公園と隣接する図書館を一体的に整備することにより、魅力的な活動の場を付与することで求心力を高めます。

めざす姿 (効果)

更に、図書館および公園を起点として、まちとつながる動線を設定することにより、近隣の公共施設や商業施設との連携を促し、都市機能の相互補完につながります。
図書館と公園の機能連携を強化することによって、多様な世代が活動の環を広げ、その相乗効果によって香里ヶ丘地区の活性化を推進します。



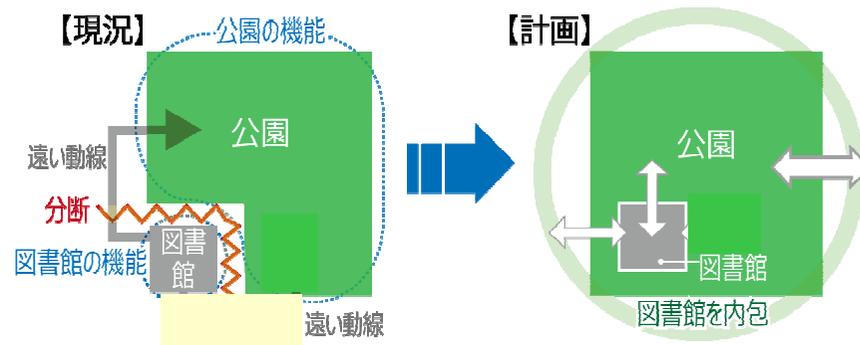
高低差のある街並み



緑豊かなケヤキ並木

(2) 計画地の現状と課題

- ・現在の図書館は公園のガケ地と接しており、高低差が大きいいため、直接的なつながりは無い状況です。
- ・高木が近接して日差しも届きにくいことから湿気も多く、想定を超える豪雨では土砂崩れの恐れもあります。
- ・ガケ地と建物が近接しているため人が通行できず、視線も届かないため防犯上の問題が懸念されます。



(3) 整備の方針

- ・象徴的な枚方丘陵の樹林は、土地の歴史や地区の記憶を留める代表的な風景です。
- ・この風景が公園と図書館をつなぐことにより、市民に対する求心力を高め、賑わいを創出する活動の拠点となり、地区再生へとつながります。
- ・現存の樹林は安全に配慮しながら公園と図書館をつなぐ形で再整備し、地区再生のシンボルとして自然との共生を図ります。



公園と図書館の境界部分



枚方丘陵の現存樹林

(4) 市民活動の「場」をつなぐ

- ・香里ヶ丘地区は住宅、公共施設、商業施設と、緑豊かな公園や並木が調和し、そこに暮らす高齢者や子育て世代等、まちと人が豊かな地域資源を形成しています。
- ・森に種を蒔いて樹木を育むように、この地域資源や起伏のある地形を「道」によって緩やかにつなぎ、市民活動の「場」が芽生え、多様な世代が交流することで、施設から公園へ、そしてまち全体へコミュニティが醸成していく起点として図書館を位置づけます。
- ・図書館に限らず、公園の広場や周辺のカフェ等が相互に機能を補完し、相乗効果によって地域の活性化へつなげます。



●コンセプトイメージ

周辺の都市機能を補完し 新たな地域の魅力となる香里ヶ丘図書館・香里ヶ丘中央公園

図書館・公園発の賑わい創出・子育て支援・自然共生などで香里ヶ丘地区の魅力向上

2) ハードとソフトの連携

(1) 図書館、公園、まちづくりが連携した取り組み例

① Urban Picnic … 兵庫県神戸市

市民のアイデアを取り入れ、市民が場づくりに積極的に関わる仕組みをつくれば、愛される公共施設になるという考え方から生まれた都市公園の図書館。アウトドアライブラリーでは、コーヒーを飲みながら公園で読書を楽しむ。



② まちとしょテラス … 長野県小布施町

学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場という4つの柱による「交流と創造を楽しむ文化の拠点」という理念のもとで図書館を建設。利用者のための図書館運営に様々な工夫を凝らしている。



③ 太田市美術館・図書館 … 群馬県太田市

美術館と図書館を併設し、中心市街地に賑わいと創造性をもたらすまちづくりの拠点。内外がスロープや螺旋階段でつながり、緑化された屋上は公園化されている。市内35施設と連携したまちじゅう図書館も実施。



④ 南池袋公園 … 東京都豊島区

行政と地域とが協働しながら公園空間の良好な保全と健全な賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的に整備された都心部の公園。カフェレストランを併設し、若者世代を中心に芝生の上でくつろぐ姿が印象的。



(2) 図書館と中央公園に求められる姿

- ・図書館と公園が一体となった地域貢献 (健康福祉、子育て支援など)
- ・地区内の公共施設や商業施設との機能補完 (休憩、集会、飲食など)
- ・活動を通じたコミュニティの醸成 (市民活動など)

ハード面の強化

- ① 公園と街路樹のみどりと調和した図書館 ... まち並みを活かしたデザイン
- ② 図書館・公園・周辺道路との動線の確保 ... 屋外階段、ブリッジ、エレベーター、駐車場
- ③ 図書館・公園において相互利用できる場所の提供 ... 閲覧室、テラス、みどりの広場
- ④ 地区全体とつながるネットワークの構築 (情報共有) ... 遊歩道、情報案内板での掲示
- ⑤ 図書館周辺の公園法面の安全対策 ... 図書館からの景観に配慮

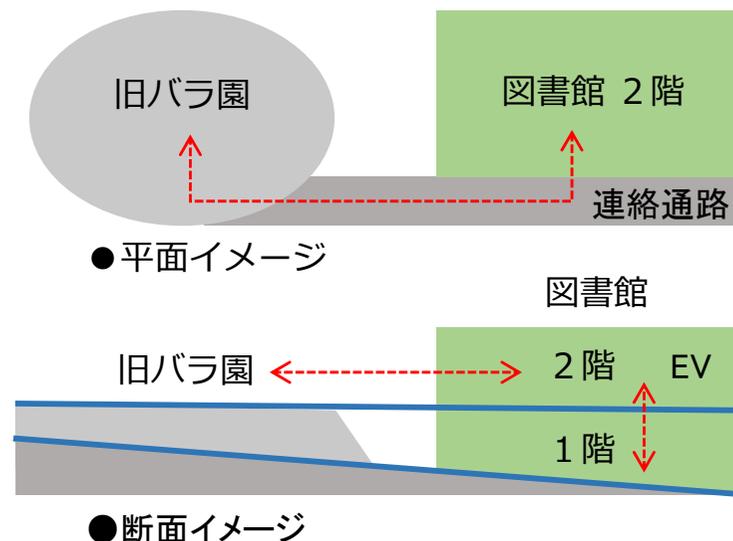
ソフト面の強化

- ① 図書館と一体的に展開する文化・スポーツ活動 ... 健康イベント、読書カフェ、ヨガなど
- ② 多様なニーズに応える活動の場 ... みどりの広場、多目的室
- ③ 市民との協働による公園管理運営 ... 清掃活動、花壇の管理
- ④ 民間事業者との連携 ... 利用者サービス向上、効率的な運営管理

3) 連携のイメージ

(1) 「道」によってまち・人・活動をつなぐ

- ・図書館と公園の機能連携とともに、地区環境との関わり方を含めた視点が重要です。
- ・図書館自体を地域をつなぐ「道」と捉え、階段やスロープによって広場や遊歩道と接続し、公園から周辺施設、まち全体へのつながりを生み出します。
- ・計画地北側の地盤が高い旧バラ園は現状を活かした形で広場化し、図書館の2階レベルで接続することで、相互に連携しやすい環境をつくれます。



(2) 図書館と公園が連携した活動例

例	図書館の利用	移動	公園の利用		主な対象年齢層
			利用方法	利用できる「場」	
1	本を借りる	→	飲食と読書、自主学習	東屋、ベンチ、芝生広場	全年齢
2	健康向上についての本を読む	→	ジョギング、ヨガ講座、ストレッチ	ジョギングコース、みどりの広場	高齢者 子育て世代
3	アウトドアの本を借りる	→	アウトドアを感じながらの読書 冒険遊び	小広場東側の樹林地	若者 子育て世代
4	虫や植物の研究研究成果の展示	↔	虫取り、植物採取	公園全体	子ども
5	星座の本を読む	→	星空観察	みどりの広場	子ども
6	読み聞かせ	↔	保育園のお散歩	散歩コース	保育園

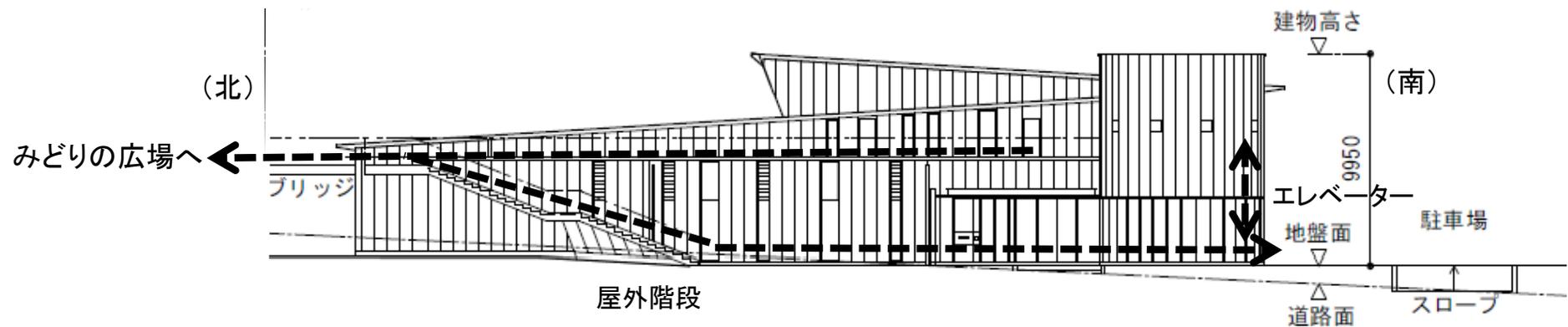
(3) 平面計画

- ・公園の広場と図書館が相互に連携しながら多様な活動ができる場を提供します。



(4) 断面計画

- ・丘陵地を緩やかにつなぐ「道」＝「図書館」が南の大通りと公園を結び付け賑わいを生み出します。



Ⅲ. 図書館の施設計画

1) 敷地分析とゾーニング計画

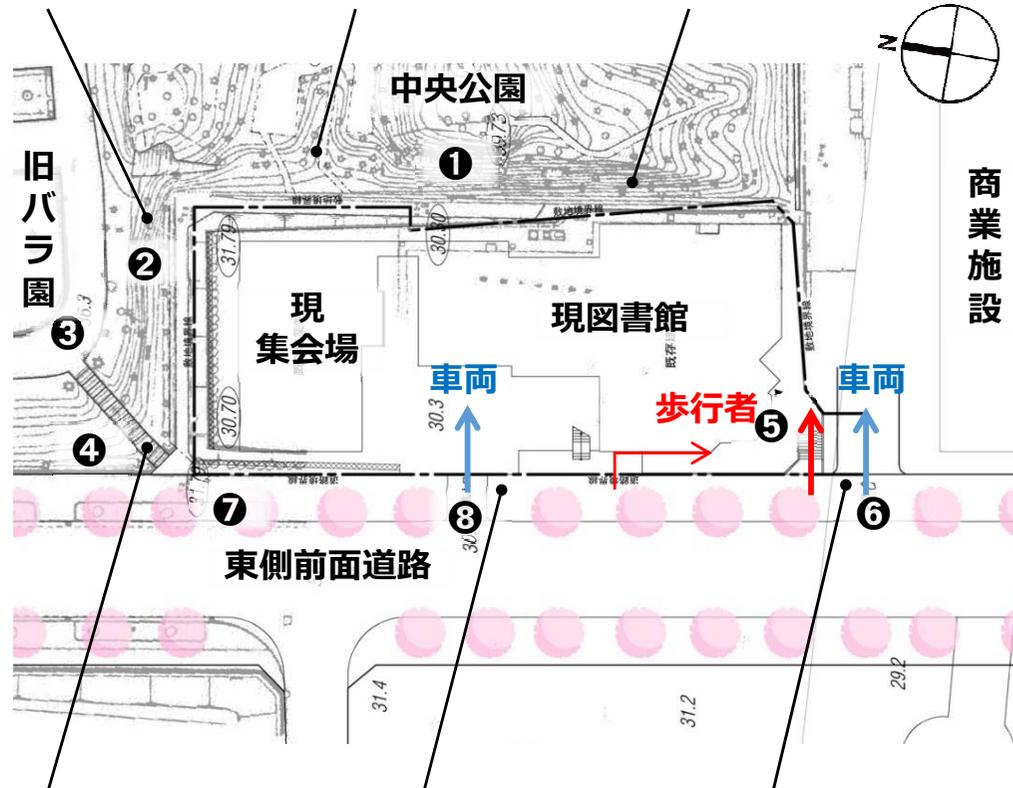
(1) 敷地および周辺の状況



急勾配のため
旧バラ園との
接続が困難

緩勾配のため
眺望を確保でき
る可能性あり

急傾斜のため
眺望の確保が
困難



急勾配のため高
齢者や子供の利
用は危険

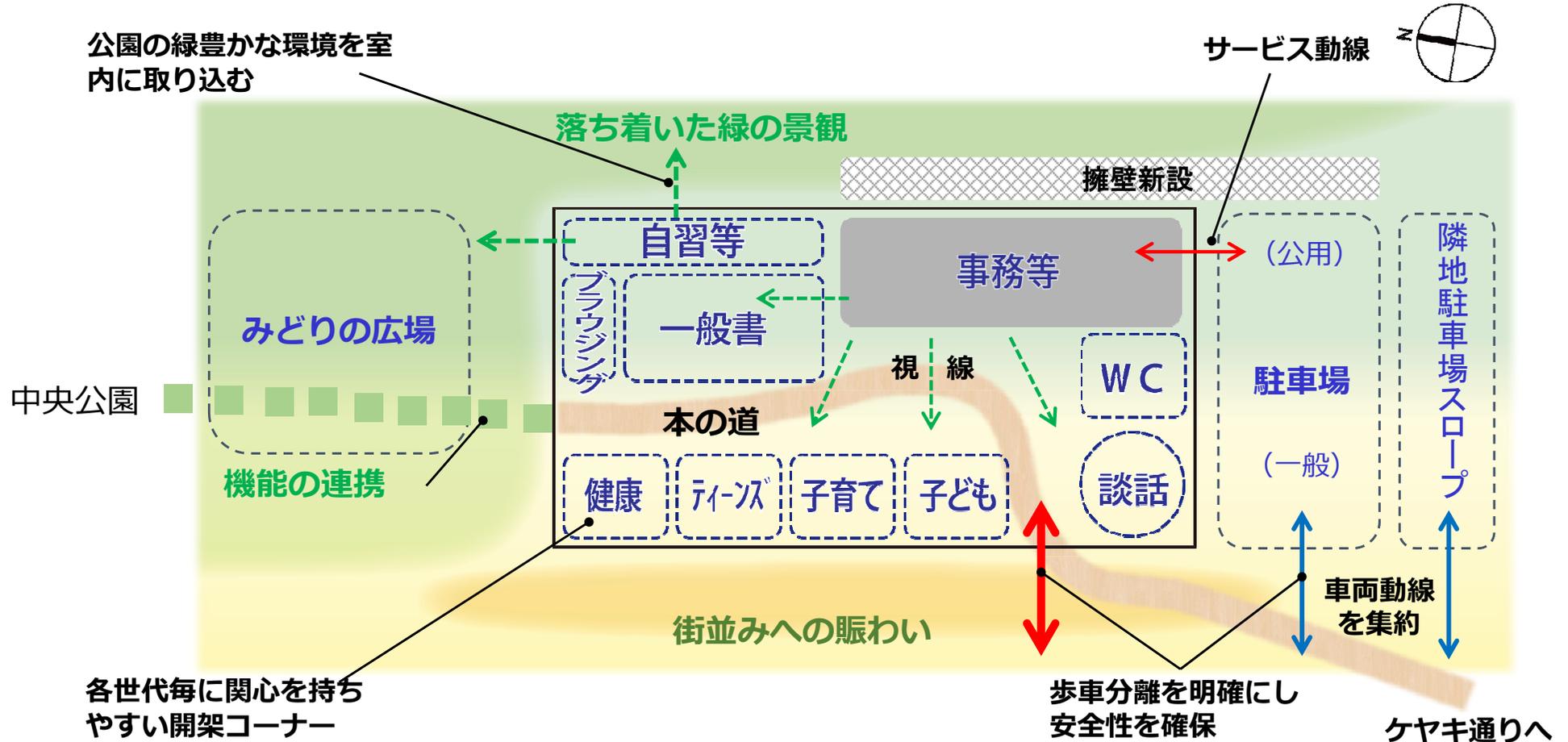
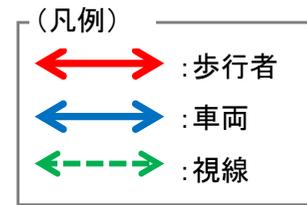
道路傾斜と擁壁
により敷地への
アクセスが限定

図書館出入口と
駐車場スロープ
が近接し危険



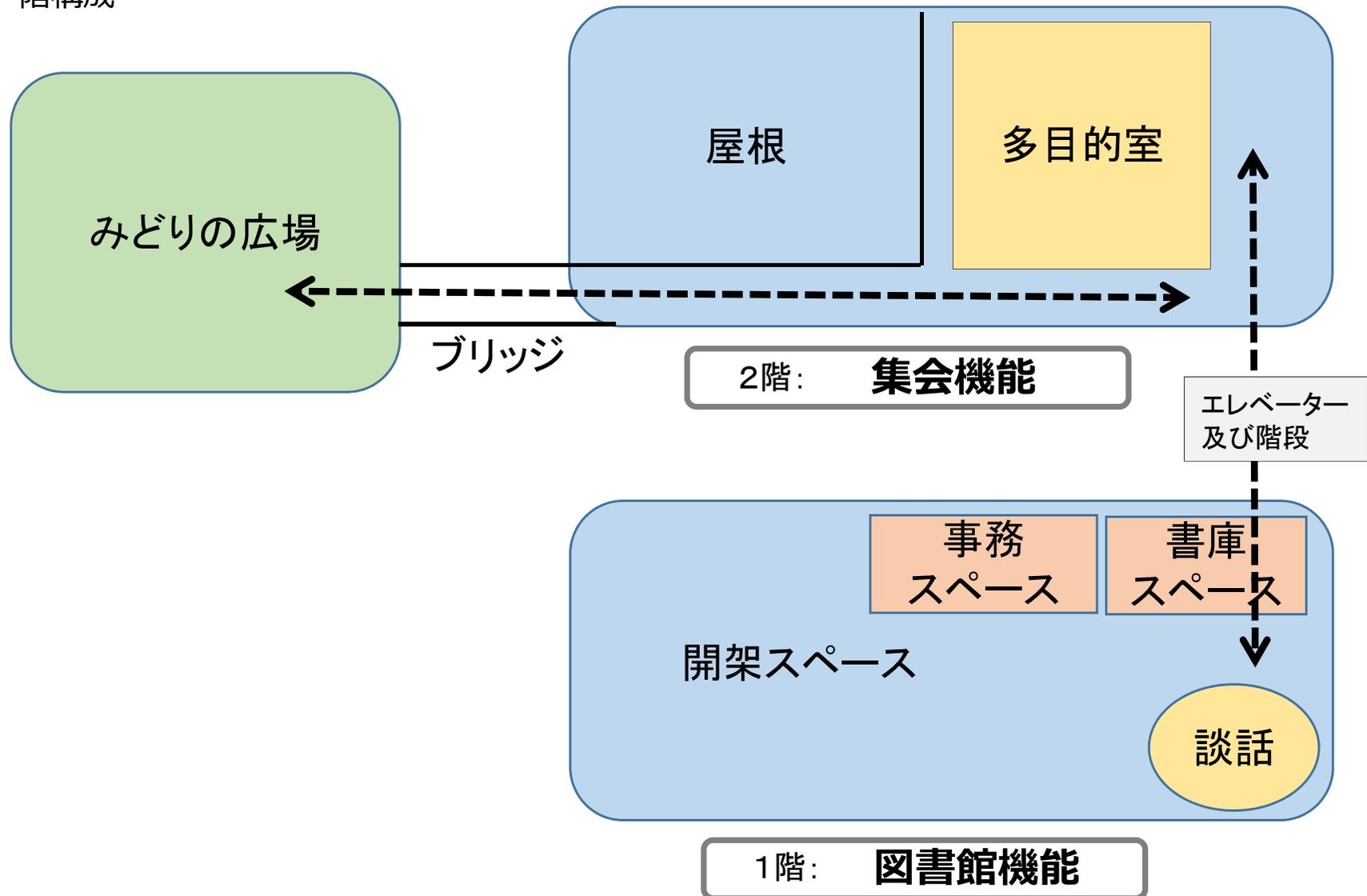
(2) 図書館のゾーニング計画

- ・周辺環境と呼应した居心地のよい機能配置と、地区の起点となる南側のバスロータリーから図書館へ、そして公園へつながる「道」を館内に設定し、気軽に立ち寄りやすい動線計画とします。



2) 階構成と機能性

(1) 階構成



(2) 多様なニーズに応える機能性

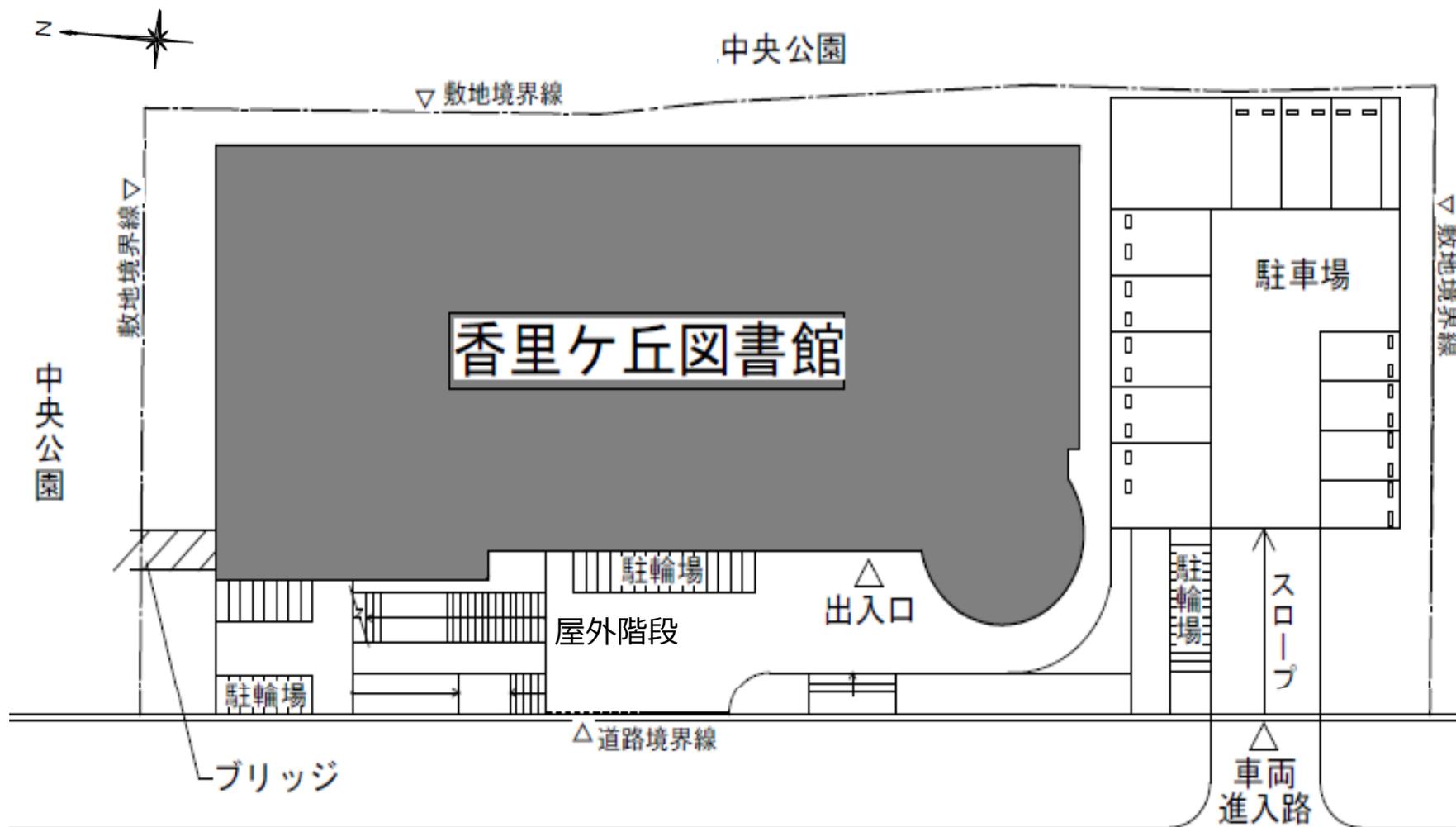
- ・将来的に増加する高齢者層や地区再生に伴う子育て世代等、様々な年齢層の方が快適に利用できるよう、多様なニーズに対して配慮の行き届いた環境を整備します。
- ・1階の玄関ロビーや2階のギャラリーには、近隣施設や各種団体のイベント案内を掲示し、地域活動の連携を促進します。
- ・2階の多目的室には可動間仕切を設け、様々なイベントに対応できる仕様とします。



主な対象年齢層	図書館の利用内容	利用場所	具体的な内容
高齢者	拡大読書機などによる資料閲覧	閲覧室	拡大読書機・ルーペなどの設置
若者	感想、知識をSNSで拡散、共有	ティーンズコーナー	Wifi環境整備
子育て世代	読書中の子どもを見守りながらの談話	子育て広場	子育て広場に隣接した見通しの良い子ども広場
全年齢	セミナー、生涯学習、クラブ	多目的室	可動間仕切による区分利用
	バリアフリー映画会	多目的室	可動間仕切を開放した大空間

3) 図書館イメージ

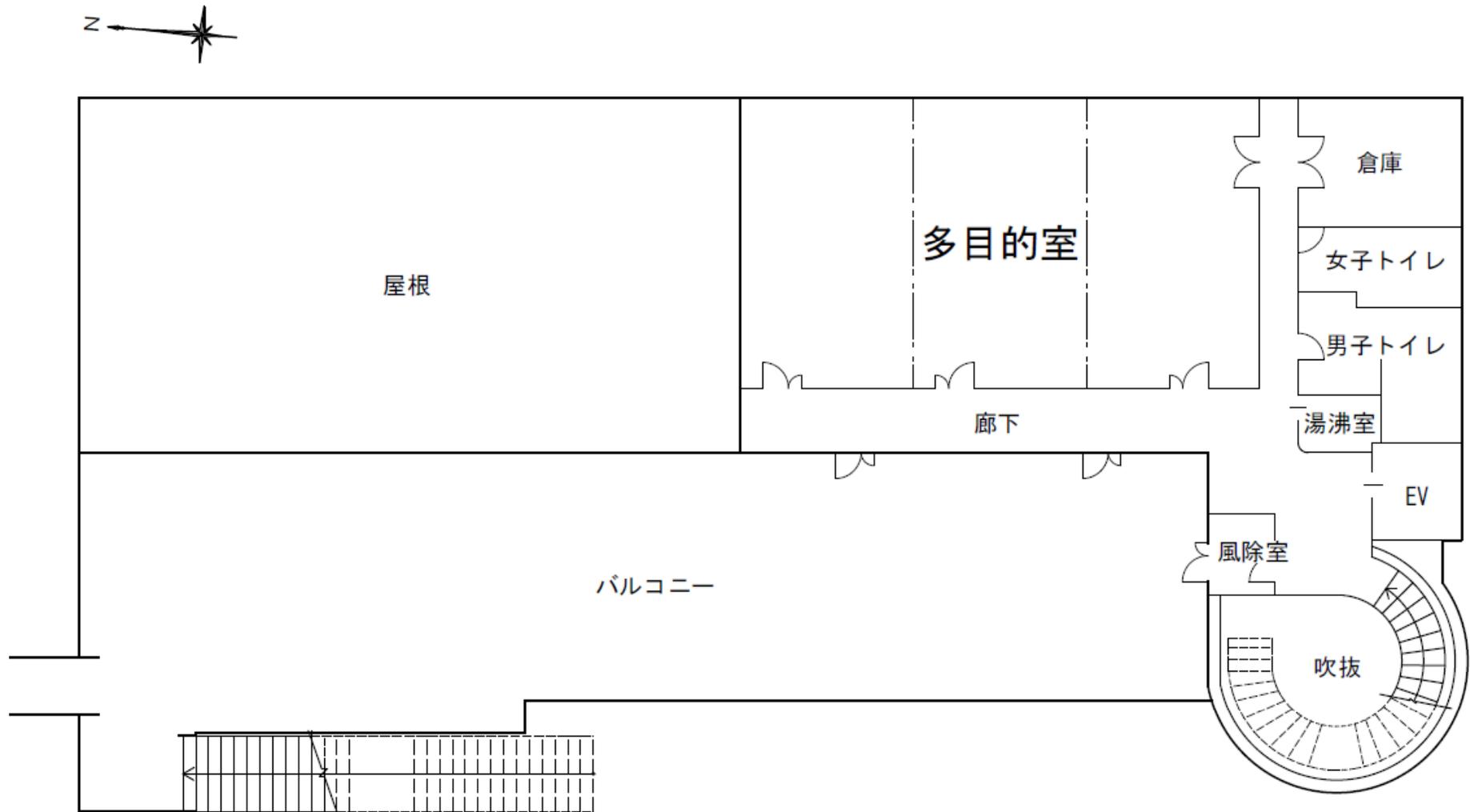
(1) 配置図



(2) 平面図 (1階)



(3) 平面図 (2階)



IV. 中央公園の整備計画

1) 中央公園および公園ネットワーク

(1) 中央公園の状況と課題

- ・枚方丘陵の地形を生かした緑が多く自然豊かな公園
- ・樹木を剪定すれば眺望が開ける



- ・地域活動等に利用されている広場
- ・老朽化が目立つトイレ
- ・段差のため車いす対応が不十分
- ・幼児用の遊具が少ない



- ・跡地活用されていない旧バラ園



- ・アラカシなどの樹種が群生
- ・現存する樹林地では鳥や昆虫を観察
- ・昼でも地面に日差しが届かない樹林地
- ・洗掘された根元(大木の倒木懸念)
- ・頭上暗く、下草も生えず、足元危険
- ・各公園共均一した樹種(クヌギ、シイノキ、サクラ、モチノキ、ツツジ…)



- ・市立香里団地保育所との連携が取れる



- ・老朽化した階段



- ・駐車台数12台(不足)
- ・滑って歩きにくい石調タイルの舗装



- ・市内でも貴重な広い運動スペース



- ・歓迎感がほしいメインアプローチ
- ・彩が少ない斜面地



(2) 地区における周辺公園の現状と課題

① 香里ヶ丘東公園

- 【特徴】丘を利用した公園
- 【施設】頂上の広場空間(トイレ無し)
- 【課題】急な階段、密集した樹林地、眺望無し



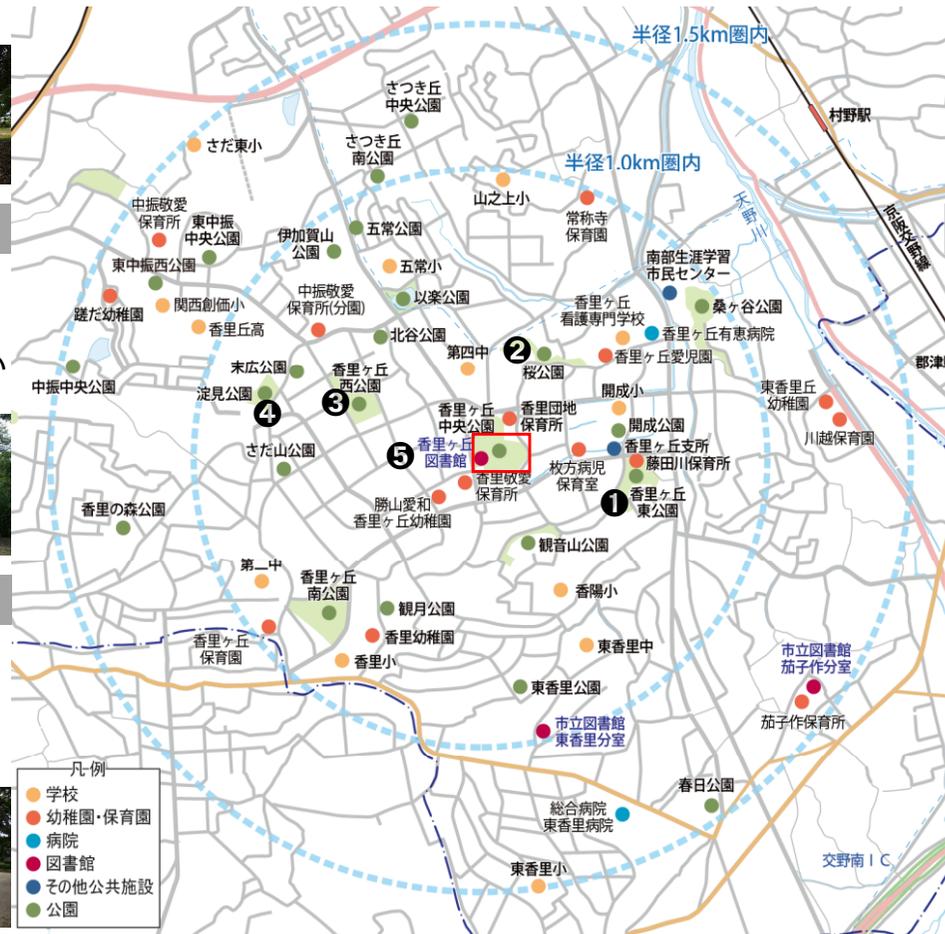
② 桜公園

- 【特徴】スロープがある新しい公園
- 【施設】ジャングルジム、遊具、鉄棒、砂場、パーゴラ、水飲み(トイレ無し)
- 【課題】桜は多いが公園の魅力に乏しい印象



③ 香里ヶ丘西公園

- 【特徴】段々状の土地利用による公園
- 【施設】ブランコ、滑り台、鉄棒(トイレ無し)
- 【課題】土系舗装の砂塵飛散面積の割に単調な広場の連続彩りに乏しい植栽



④ 淀見公園

- 【特徴】北～西方へ眺望の開けた公園
- 【施設】ブランコ、滑り台、鉄棒(トイレ無し)
- 【課題】眺望が魅力だがフェンスが無機質観光資源の案内が無い



⑤ 古谷公園

- 【特徴】住宅地の中の広場
- 【施設】ジャングルジム、ブランコ(トイレ無し)
- 【課題】土系舗装の砂塵飛散広場以外の付加価値的な魅力に乏しい



団地の提供公園・公開空地

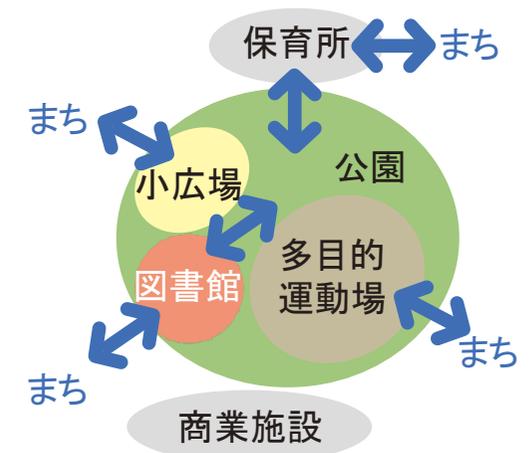
- 【特徴】各団地に工夫を凝らした遊具やベンチを設置した小公園あり地区全体でのデザインや機能の一貫性は見受けられない住民管理の花壇が散見される



2) 整備方針と機能配置

(1) 中央公園の整備方針

- ・香里ヶ丘図書館と一体的に整備することで、周辺の公園にはない特徴や取組みを盛り込み、まちとのつながりを生み出し地域活性化を目指します。
- ・現状の課題への対策として物理的なバリアの解消に加え、事業者からの提案を踏まえて、新たな公園機能の付与や図書館との一体利用を考慮した整備を行います。
- ・安全性に充分配慮し、人が積極的に利用するエリア、人と自然が共生するエリアに区別してみどりを効果的に活用・保全します。



1) 整備の具体的な方向性

①地域をつなぐネットワークの構築

周辺施設との連携、活動を誘発する公園機能

遊具広場	:	幼稚園・保育所（園）の野外活動
遊歩道	:	運動器具設置による健康志向の醸成 図書館との接続によるバリアフリー化
桜並木	:	溜り空間の整備によるお花見スポット
周廻園路	:	多目的運動場外周のウォーキングコース
みどりの広場	:	図書館・商業施設等とのイベント連携

③みどりの効果的な活用・保全

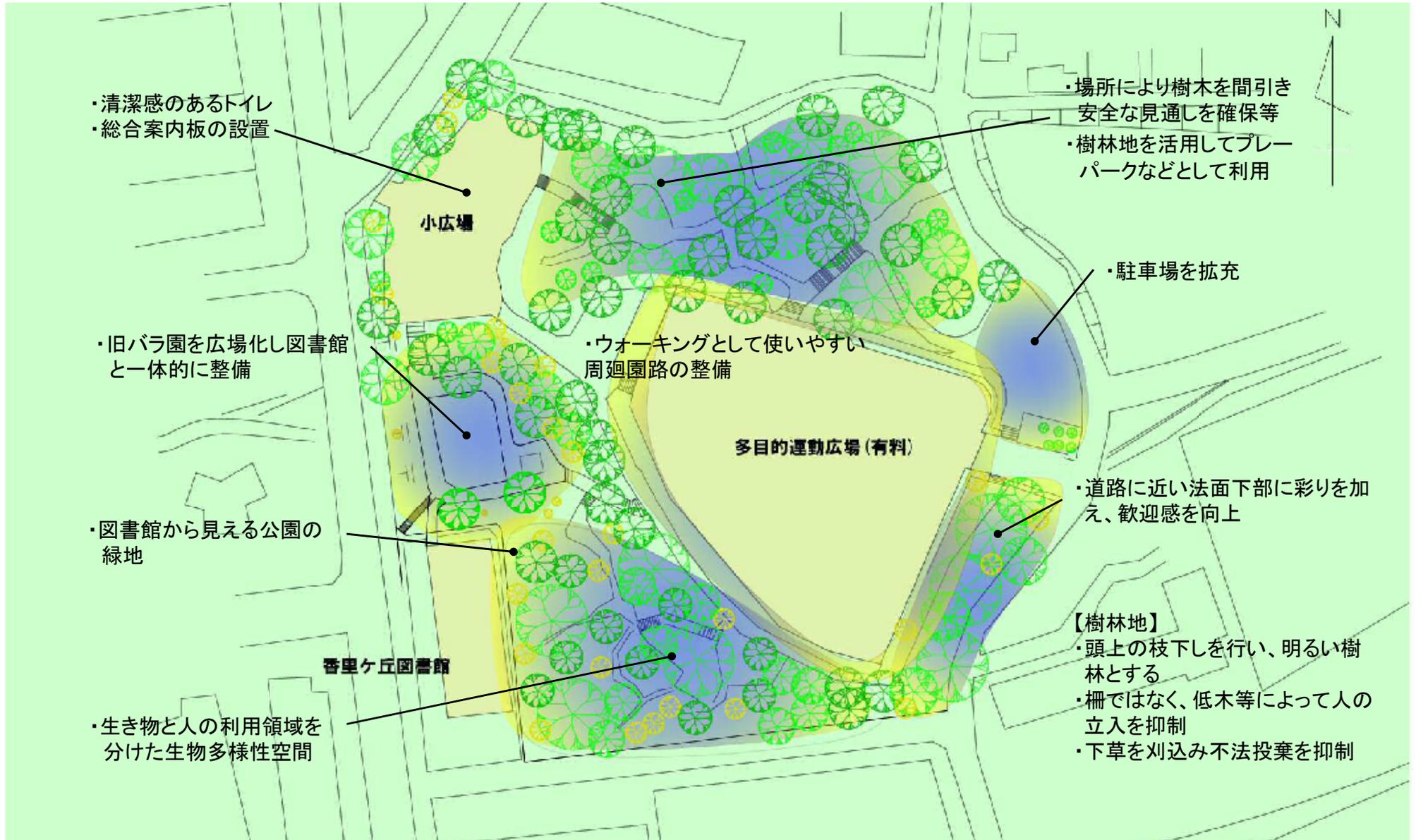
樹林地の活用	:	プレーパークなどの実施
樹林地の保全	:	生物多様性空間の確保

②公園機能の充実、図書館との機能連携

ハード面の課題に対する再整備や管理作業、ブリッジの整備による一体利用

出入口	:	彩りやゲート性を加え歓迎感を付与 スロープ等によるバリアフリー化
駐車場	:	公園の団体利用を想定した台数確保
トイレ	:	「清潔感のあるトイレ」の整備
旧バラ園	:	多目的利用できるフラットな広場化
樹林地	:	樹木の剪定、下枝払い

(2) 中央公園の機能配置



3) 中央公園イメージ

(1) ゾーニング計画



⑥ プレーパーク



③ アウトドアライブラリー



⑤ 人と自然が共生するエリア

